

北陸経済調査

〔管内経済の概況〕

北陸財務局管内(石川県、富山県、福井県)の最近の経済動向をみると、令和6年能登半島地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、緩やかに持ち直しつつある。※前回5月判断を据置き(令和6年4月以降、3か月連続の据置き)

(総括判断のポイント)

個人消費は、地震の影響は残るものの、ドラッグストア販売が拡大しており、百貨店・スーパー販売が持ち直しているほか、温泉地や観光地でも客数の回復が進んでいることなどから、全体では「持ち直している」。生産は、地震後の復旧が進んでいることなどから、全体では「緩やかに持ち直しつつある」。雇用情勢は、地震の影響により一部に弱い動きがみられるものの、「緩やかに持ち直している」。

【先行き】

○ 復旧・復興の動きに加え、各種政策や北陸新幹線敦賀延伸の効果もあって、持ち直していくことが期待されるが、引き続き、地震の影響については十分注意する必要がある。

【総括判断】

項目	令和6年5月	令和6年6月	前回との比較
総括判断	令和6年能登半島地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、緩やかに持ち直しつつある。	令和6年能登半島地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、緩やかに持ち直しつつある。	→

【主要項目の判断】

項目	令和6年5月	令和6年6月	前回との比較
個人消費	地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、持ち直している。	地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、持ち直している。	→
住宅建設	弱い動きとなっている。	弱い動きとなっている。	→
生産	地震後の復旧が進んでいることなどから、全体では緩やかに持ち直しつつある。	地震後の復旧が進んでいることなどから、全体では緩やかに持ち直しつつある。	→
雇用情勢	地震の影響により一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。	地震の影響により一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。	→

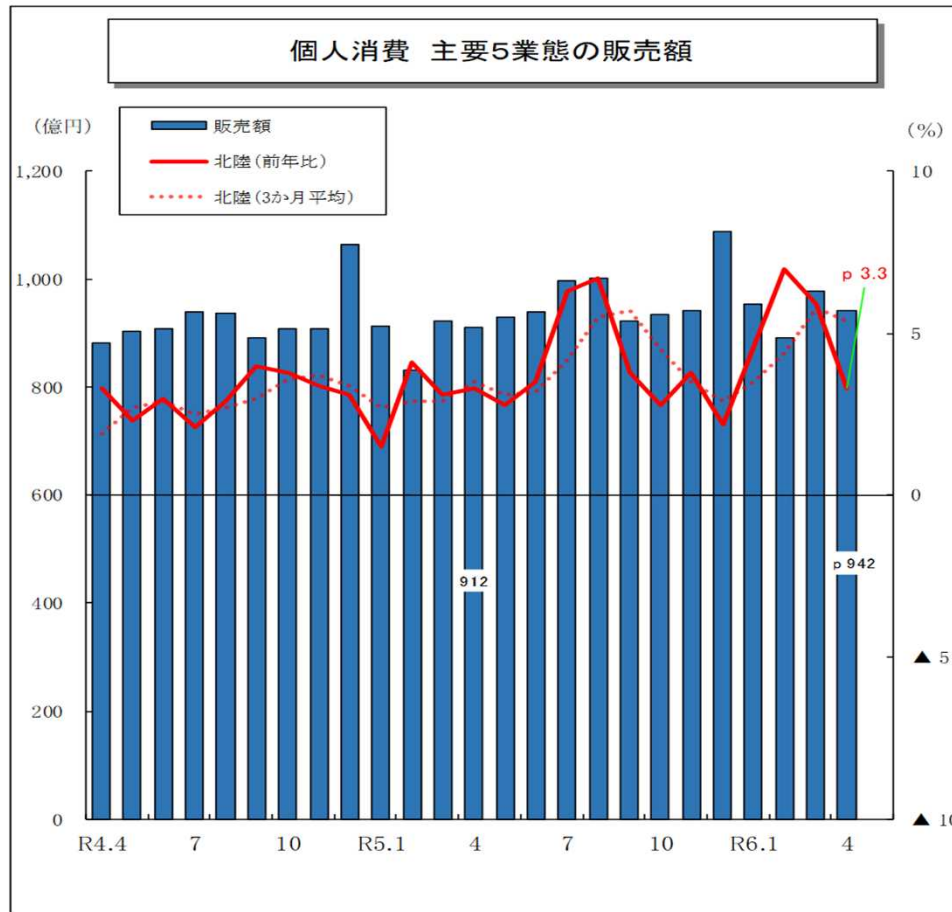
令和6年6月
財務省 北陸財務局

お問合せ先
財務省 北陸財務局 経済調査課
TEL (076) 292-7858

1. 個人消費 …… 地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、持ち直している

※ 前回5月判断を据置き(令和6年5月以降、2か月連続の据置き)

百貨店・スーパー販売やホームセンター販売が持ち直しているほか、温泉地や観光地でも客数の回復が進んでいることなどから、全体では持ち直している。



2024年4月	販売額(全店)	前年同月比(全店)
主要5業態	p94,224 百万円	p3.3 %

業 態	判 断
百貨店・スーパー	持ち直している
コンビニエンスストア	堅調となっている
ドラッグストア	拡大している
ホームセンター	持ち直している
家電大型専門店	持ち直しの動きがみられる
新車販売	弱含んでいる
主要温泉地	前年を上回っている
主要観光地	前年を下回っている

(注1) 主要5業態は、各業態(百貨店・スーパー、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ホームセンター、家電大型専門店)の販売額を合計したものの。

(注2) 3か月平均は当局試算。

(資料) 経済産業省、中部経済産業局、北陸財務局

(1) 百貨店・スーパー販売 ※前回5月判断を据置き(令和6年5月以降、2か月連続の据置き)

4月の百貨店・スーパー販売は、

- ・百貨店では催事効果やインバウンドの増加により、前年を上回っている。
- ・スーパーでは飲食料品に動きがみられることから、前年を上回っている。

以上のような状況を踏まえると、**持ち直している**。

2024年4月	販売額(全店)	前年同月比(全店)
北陸	p31,475百万円	p1.5%
全国	17,612億円	3.0%

①百貨店販売

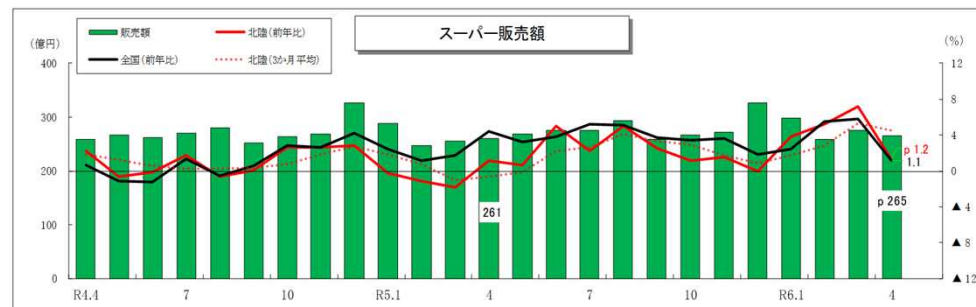
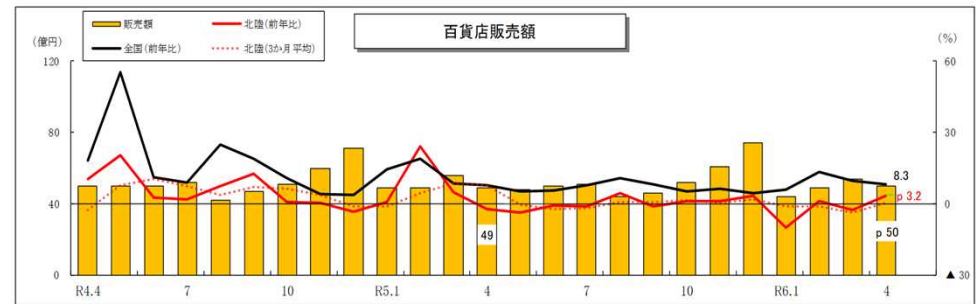
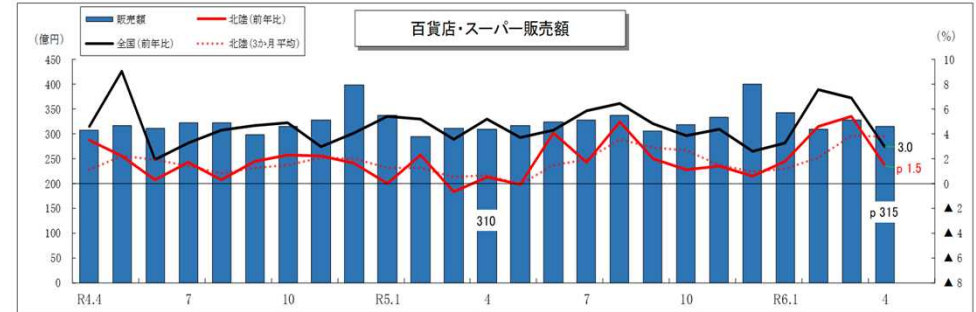
2024年4月	販売額(全店)	前年同月比(全店)
北陸	p5,019百万円	p3.2%
全国	4,870億円	8.3%

(主なヒアリング結果)
 > インバウンドの増加が続いており、キャリアケースや身の回り品で高単価の商品を購入する動きがみられる。
 > 銘菓を中心に能登エリアの商品に、法人からのまとまった注文がみられる。
 > 買い物頻度や複数店での買い回りの動きが減少しており、節約志向が窺える。

②スーパー販売

2024年4月	販売額(全店)	前年同月比(全店)
北陸	p26,457百万円	p1.2%
全国	12,742億円	1.1%

(主なヒアリング結果)
 > 農産物の高騰で単価が上がったほか、冷凍野菜の需要も高まっている。
 > 買上点数の減少が目立ってきており、節約意識が高まっていると感じる。



(注) 3か月平均は当局試算。

(資料) 経済産業省、中部経済産業局

(2) コンビニエンスストア販売等

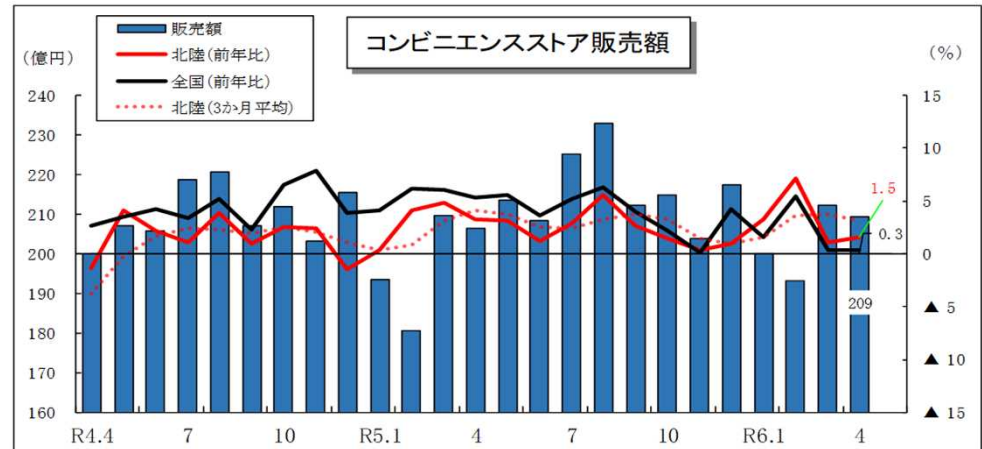
①**コンビニエンスストア販売**は、北陸新幹線の敦賀延伸効果等により観光客の需要が増加しているほか、飲料等に動きがみられることから、堅調となっている。

※前回5月判断を据置き(令和4年8月以降、23か月連続の据置き)

2024年4月	販売額(全店)	前年同月比(全店)
北陸	20,947百万円	1.5%
全国	10,423億円	0.3%

(主なヒアリング結果)

➢ 駅周辺の店舗を中心に客数が増加しているほか、気温が高い日が多かったため、飲料等が好調だった。足下では、観光イベントの開催や好天が続き、人流が増加していることから、引き続き飲料等が好調に動いている。



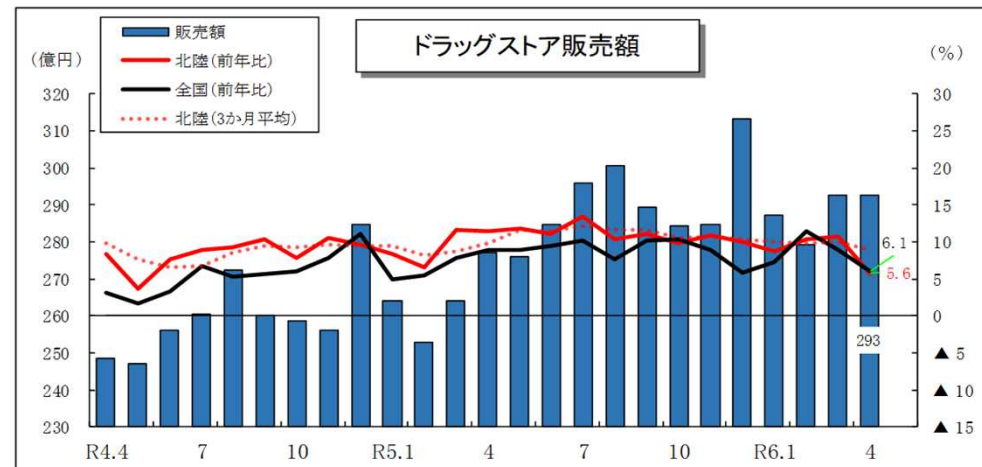
②**ドラッグストア販売**は、飲食料品等に動きがみられるほか、新規出店効果もあり、拡大している。

※前回5月判断を据置き(令和5年11月以降、8か月連続の据置き)

2024年4月	販売額(全店)	前年同月比(全店)
北陸	29,275百万円	5.6%
全国	7,150億円	6.1%

(主なヒアリング結果)

➢ 昨年花粉薬が好調であったため、今年はその反動減がみられたものの、引き続き飲食料品を中心に客数、売上ともに増加している。足下では、気温が高い日が続いており、日焼け止め等の動きが好調である。



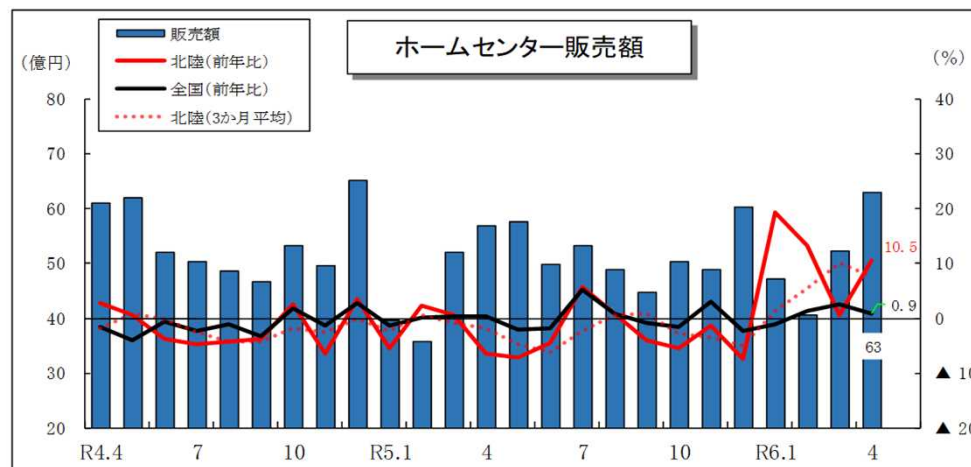
③**ホームセンター販売**は、被災家屋の復旧需要によりDIY用品に動きがみられるほか、園芸用品等に動きがみられることから、持ち直している。

※前回5月判断(「持ち直しの動きに一服感がみられる」)を上方修正(令和6年4月以来、2か月ぶりの上方修正)

2024年4月	販売額(全店)	前年同月比(全店)
北陸	6,290百万円	10.5%
全国	3,022億円	0.9%

(主なヒアリング結果)

➢地震以降、損傷した家屋等への補修用品や工具、収納用品等に動きがみられるほか、天候が良い日が多かったため、園芸用品等が好調だった。足下では、修理用の工具や木材等のほか、冷感衣料やすだれ等の夏物用品が好調に動いている。



(注) 3か月平均は当局試算。

(資料) 経済産業省、北陸財務局

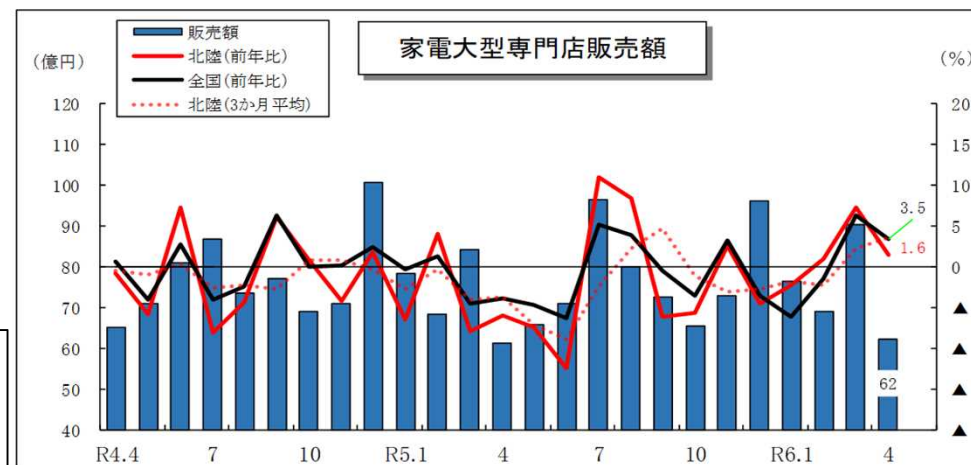
④**家電大型専門店販売**は、エアコンや給湯器等に動きがみられることから、持ち直しの動きがみられる。

※前回5月判断を据置き

2024年4月	販売額(全店)	前年同月比(全店)
北陸	6,237百万円	1.6%
全国	3,540億円	3.5%

(主なヒアリング結果)

➢気温が高い日が多かったため、例年よりも早めにエアコンが動きはじめた。また、3月後半から補助金申請が開始された給湯器も引き続き好調に動いた。足下では、暑い日が続いており、引き続きエアコンの動きが良い。また、オリンピックはテレビ販売の後押しとなっている。



(注) 3か月平均は当局試算。

(資料) 経済産業省、北陸財務局

(3) 新車販売

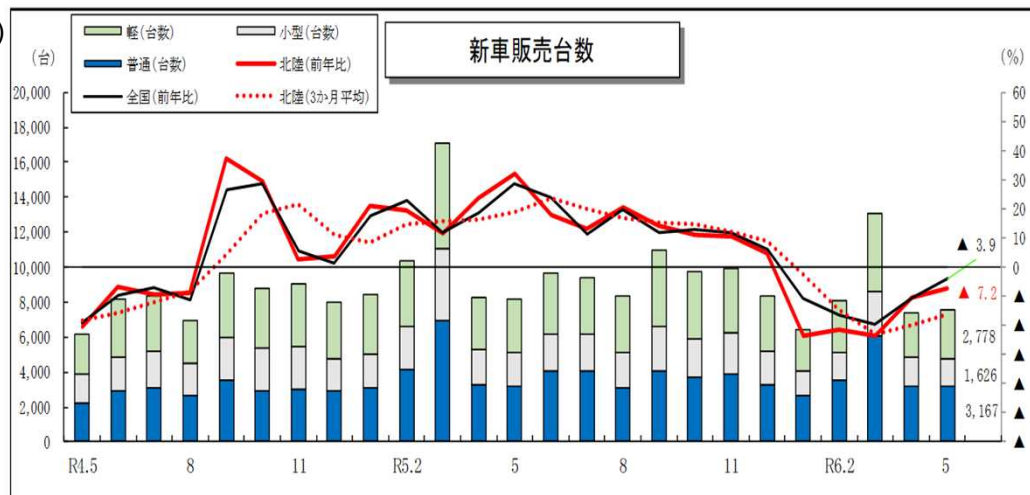
5月の新車販売台数は、普通乗用車は前年を上回っているものの、小型乗用車、軽乗用車は前年を下回っており、弱含んでいる。

※前回5月判断を据置き(令和6年4月以降、3か月連続の据置き)

2024年5月	新規登録・届出台数	前年同月比
北陸	7,571	▲7.2%
全国	261,047	▲3.9%

(主なヒアリング結果)

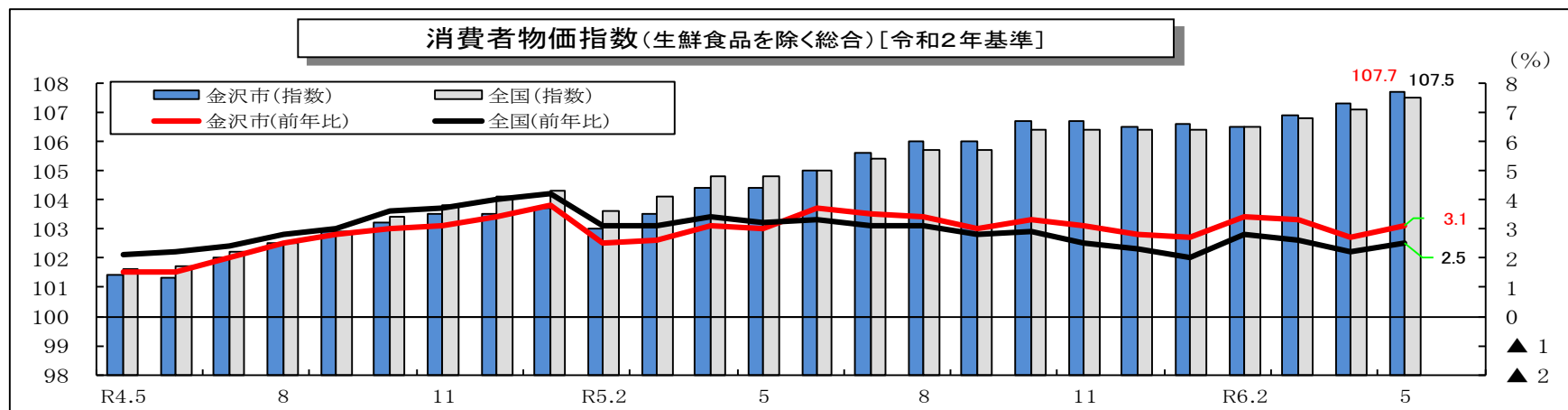
➢問題発覚により生産を停止していたほぼ全ての車種で出荷・生産を再開しており、減少幅が縮小していたが、新たに複数のメーカーで認証不正問題が発覚し、先行きが再び不透明になった。



(資料) 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、北陸財務局

(消費者物価)

5月の消費者物価(金沢市、生鮮食品を除く総合)は、前年を上回っている。



(資料) 総務省

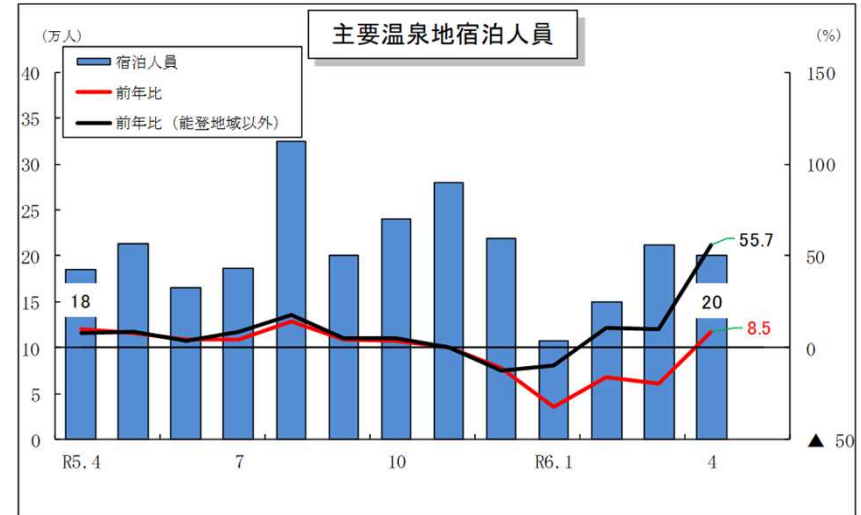
(4) 観光・旅行関連

①主要温泉地

4月の主要温泉地の宿泊客数は、前年を上回っている。
能登地域では休業が続いているものの、北陸新幹線の敦賀延伸や北陸応援割の効果もあって、能登地域以外の温泉地では回復しているとの声を聞いている。

(主なヒアリング結果)

- 4月は、北陸応援割の効果で客数が大幅に増加した。足下も堅調に推移しているものの、夏休みの予約はやや鈍く、物価高による旅行控えを感じている。(加賀:温泉地)
- 5月は、新幹線延伸の効果で関東方面からの客を中心に増加した。6月足下でも前年を上回る水準で推移している。(福井:温泉地)



(注)R6.1以降の和倉温泉・輪島温泉は未集計。

(資料)北陸観光協会

②主要観光地

5月の主要観光地の入込客数は、前年を下回っている。
能登地域では多くの観光地が営業を停止しているものの、北陸新幹線の敦賀延伸等の効果もあって、能登地域以外の観光地では回復しているとの声を聞いている。

(主なヒアリング結果)

- 新幹線延伸効果が続いており、個人客を中心に客数が増加している。先行きも明るく、特に夏休みはファミリー層の増加を見込んでいる。(福井:観光地)
- 5月は前年よりも降雨日が多かったほか、物価高による旅行控えもあり、入込客数全体は前年を下回った。他方、外国人観光客は増加しており、前年を上回った。(石川:観光地)

③旅行取扱状況

5月の旅行取扱状況は、「海外旅行は引き続き厳しい状況にあるものの、国内旅行は緩やかに持ち直している」との声を聞いている。

(主なヒアリング結果)

- 国内旅行は、回復傾向が続いている。海外旅行は、例年GW明けから夏休みにかけて家族旅行の予約が増えるが、今年は円安や物価高の影響で動きが鈍い。

(富山:旅行代理店)

(飲食・宿泊に係る主なヒアリング結果)

- コロナ前以来の社員旅行による団体予約の動きがみられる。レストランや宴会も需要が戻ってきている。(金沢:宿泊業)
- インバウンド、国内客を問わず、観光客による利用で飲食店の動きは良いが、平日は動きが鈍い時期もあり、地元客の消費が物足りない。(金沢:商業施設)

2. 住宅建設 … 弱い動きとなっている

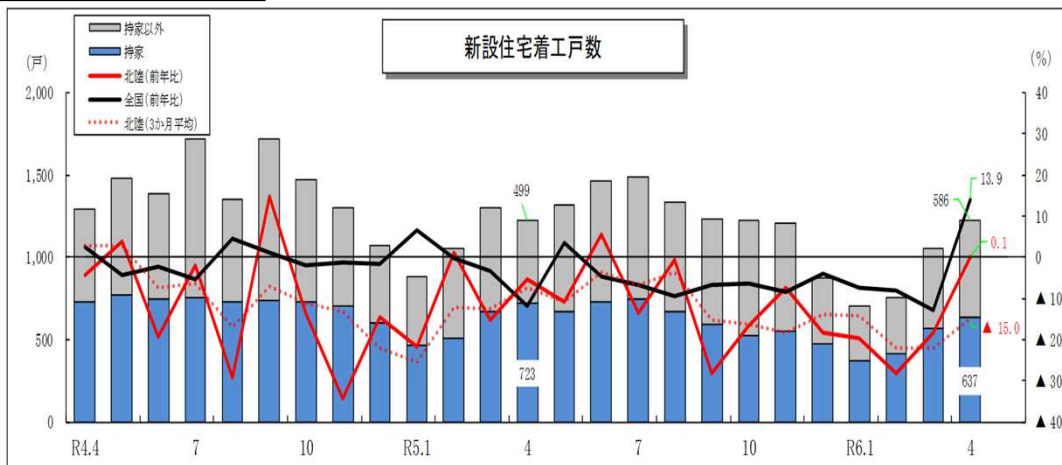
4月の新設住宅着工戸数などを踏まえると、弱い動きとなっている。

※前回5月判断を据置き(令和6年3月以降、4か月連続の据置き)

2024年4月	新設住宅着工戸数	前年同月比
北陸	1,223	0.1%
全国	76,583	13.9%

(主なヒアリング結果)

➢住宅価格の高額化や物価高によって、特に若年層の住宅購入が減少している。

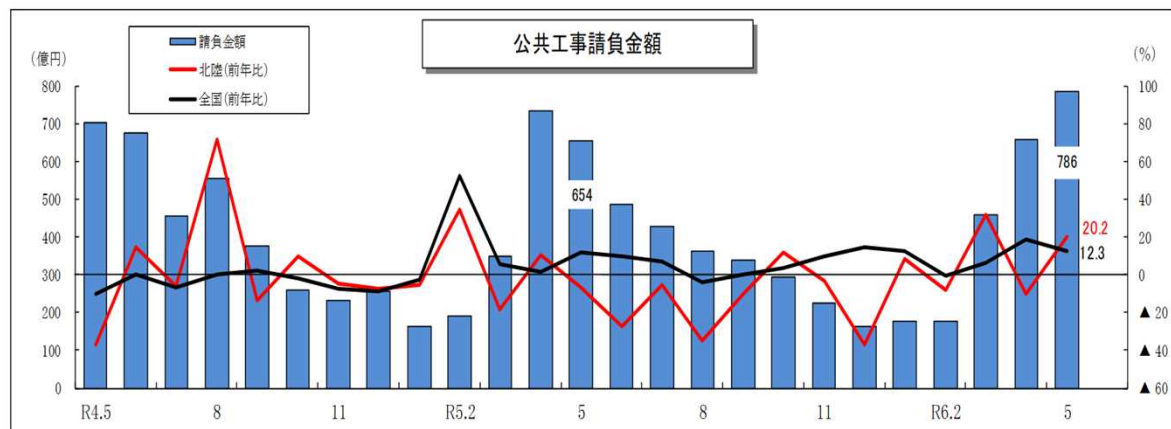


(注) 3か月平均は当局試算。

(資料) 国土交通省、北陸財務局

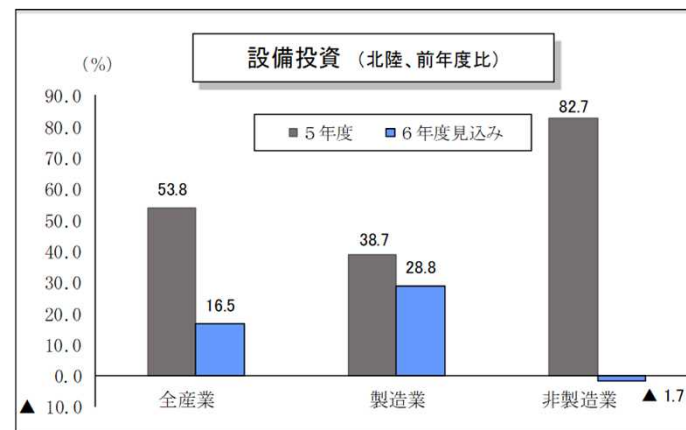
3. 公共事業 … 前年を上回っている

5月の公共事業を前払金保証請負金額でみると、前年を上回っている。



(資料) 北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)、北陸財務局

【参考】設備投資(電気・ガス・水道業を除く) … 前年度を上回る見込み



(注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額は含まない。

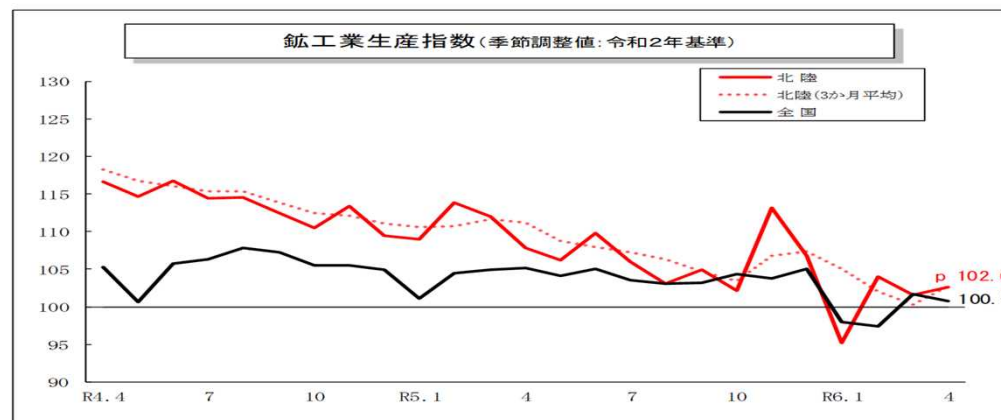
(資料) 北陸財務局「法人企業景気予測調査(R6.6.13公表)」 7

4. 生産 … 地震後の復旧が進んでいることなどから、全体では緩やかに持ち直しつつある

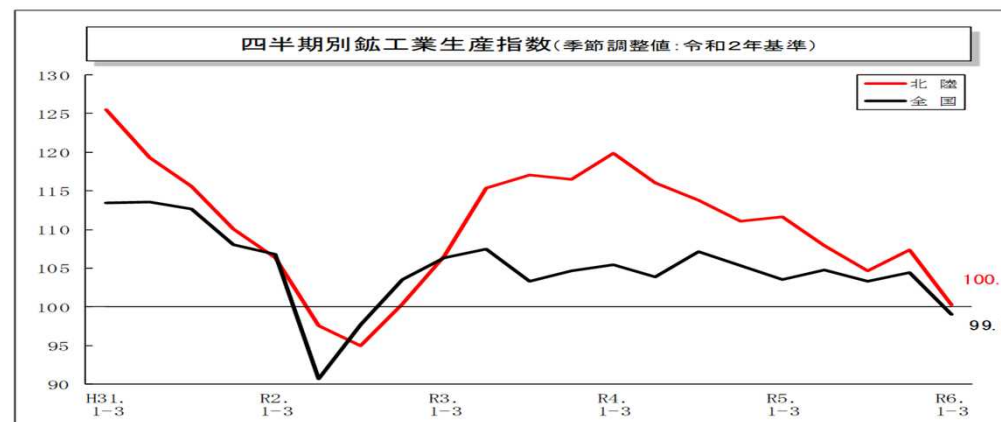
※ 前回5月判断を据置き

化学が緩やかに回復しつつあるほか、電子部品・デバイスが下げ止まっていることなどから、全体では緩やかに持ち直しつつある。

2024年4月	鉱工業生産指数 (季節調整値)	前月比
北陸	p102.6	p1.0
全国	100.8	▲0.9



2024年1-3月	鉱工業生産指数 (季節調整値)	前期比
北陸	100.3	▲6.6
全国	99.0	▲5.2



(注) 3か月平均は当局試算。(資料) 経済産業省、中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局 8

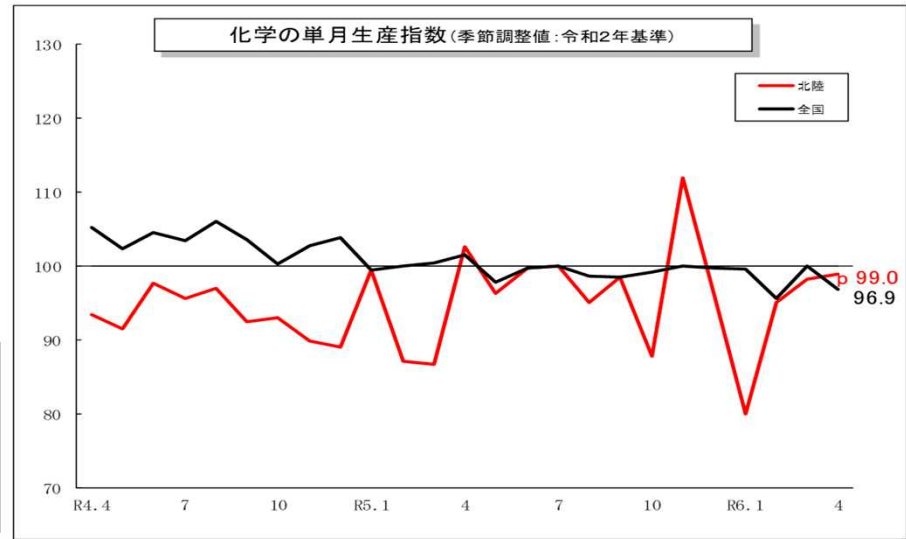
業種別にみると、

(1) 化学は、地震後の復旧が進むなか、大宗を占める医薬品で、緩やかに回復しつつある。

※前回5月判断を据置き

2024年4月	鉱工業生産指数 (季節調整値)	前月比
北陸	p99.0	p0.8
全国	96.9	▲3.1

(主なヒアリング結果)
 >4月末に全面再開となり、挽回生産中。8月には1-3月期の遅れを取り戻せる見込み。
 >全面再開は後ろ倒しとなるなど地震の影響は残るものの、3月以降の稼働率は8~9割まで回復している。
 >引き続きジェネリック医薬品の供給が追いついていないなか、新設した工場の稼働が開始し、徐々に生産拡大を図っているところ。

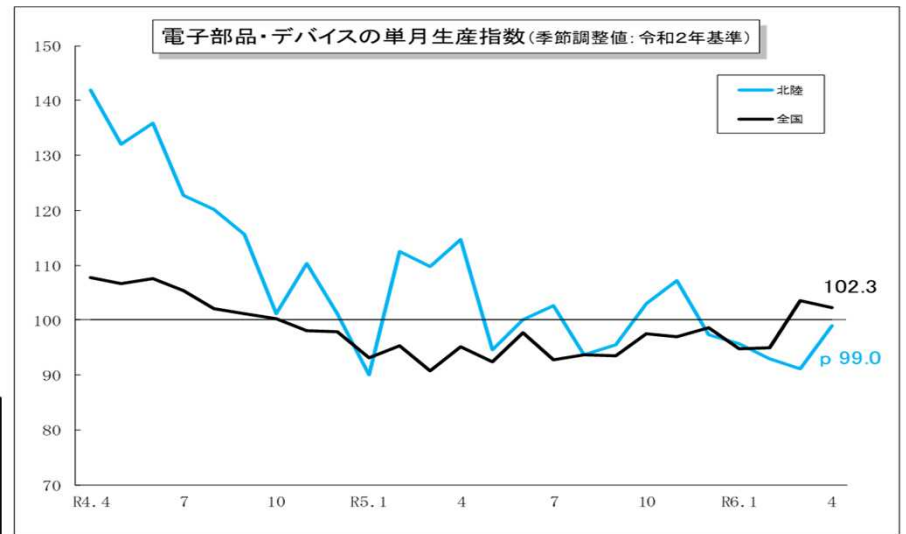


(2) 電子部品・デバイスは、地震後の復旧が進むなか、家電向けが弱まっているものの、スマートフォン向けが持ち直しつつあるほか、自動車向けが緩やかに持ち直しつつあることなどから、全体では下げ止まっている。

※前回5月判断(「弱含んでいる」)を上方修正
(令和5年6月以来、12か月ぶりの上方修正)

2024年4月	鉱工業生産指数 (季節調整値)	前月比
北陸	p99.0	p8.6
全国	102.3	▲1.3

(主なヒアリング結果)
 >スマホ向けは既存機種用の部品在庫を積み増しているほか、新機種発売に伴う受注により徐々に生産を増加している。
 >自動車向けのパワー半導体需要が堅調であるため、休日を返上して生産ラインをフル稼働させている。
 >家電向けは取引先の在庫調整が続いており、引き続き低調となっている。



(資料) 中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局 9

(3) 生産用機械は、半導体製造装置が持ち直しているものの、繊維機械が拡大の動きに一服感がみられるほか、金属加工機械が弱含んでいることなどから、全体では一進一退の状況にある。

※前回5月判断を据置き

2024年4月	鉱工業生産指数 (季節調整値)	前月比
北陸	p123.2	p0.4
全国	128.1	4.1

(主なヒアリング結果)

>引き続きアジア方面を中心に、非先端分野の半導体向け製造装置が増加傾向にある。
 >金属加工機械では、国内向けの一部でEV車向け投資等に係る受注がみられるが、依然として調整局面が続いている。

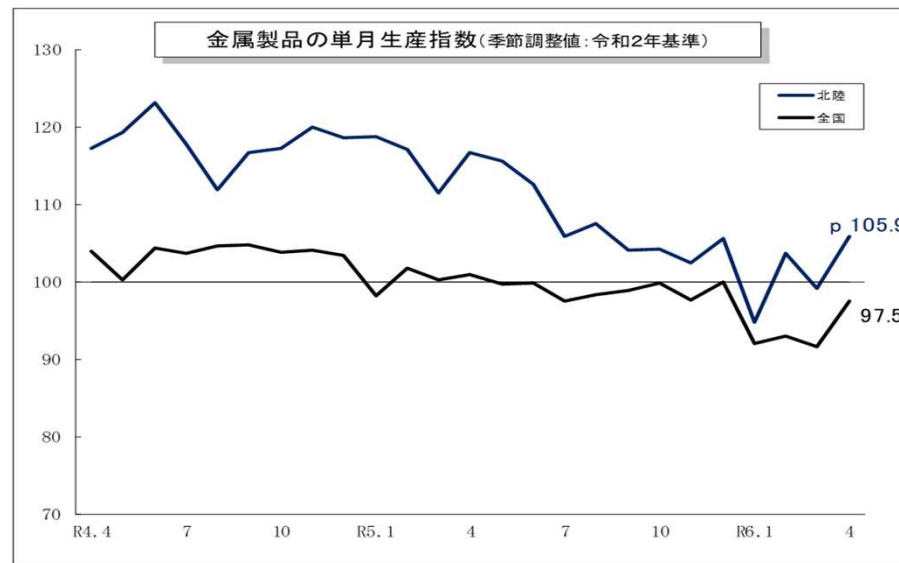
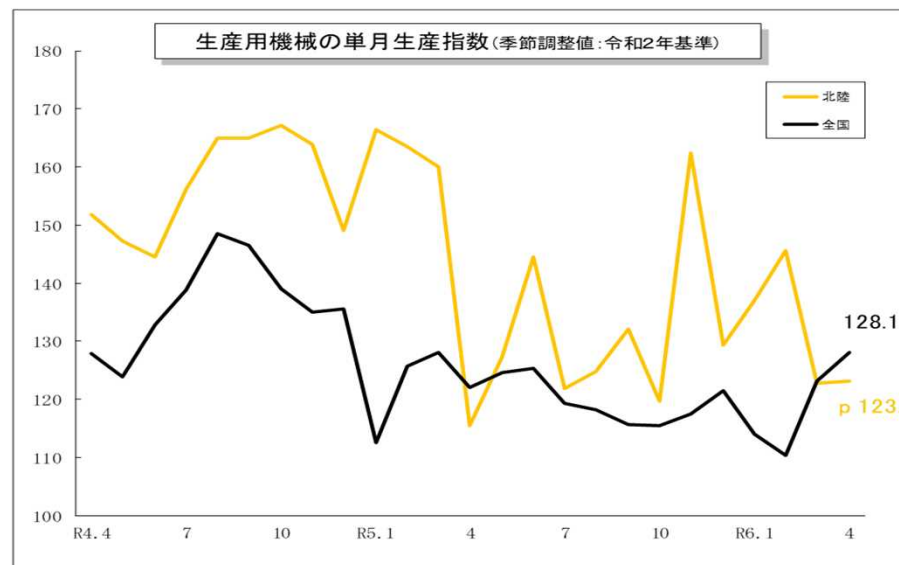
(4) 金属製品は、大宗を占めるアルミ建材で、住宅用が弱まっているほか、ビル用が持ち直しに向けた動きに一服感がみられることから、全体では弱い動きとなっている。

※前回5月判断を据置き(令和6年3月以降、4か月連続の据置き)

2024年4月	鉱工業生産指数 (季節調整値)	前月比
北陸	p105.9	p6.9
全国	97.5	6.4

(主なヒアリング結果)

>住宅着工戸数の減少に加え、住宅のスマート化により一戸あたりの使用建材が減少していることもあって、住宅用建材の受注が減少している。



(資料) 中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

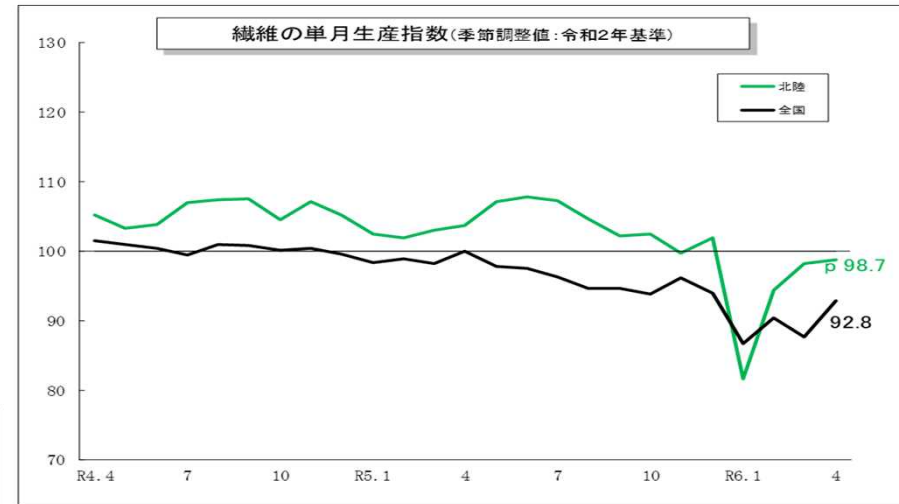
(5) 繊維は、地震後の復旧が進むなか、衣料向けが弱含んでいるものの、非衣料向けが持ち直しつつあることから、全体では緩やかに持ち直しつつある。

※前回5月判断を据置き

2024年4月	鉱工業生産指数 (季節調整値)	前月比
北陸	p98.7	p0.5
全国	92.8	5.9

(主なヒアリング結果)

- 地震の影響はほぼ解消している。建屋等の復旧工事はこれからだが、できるだけ生産に影響のない形で実施予定。
- 欧州のスポーツ向けは、当初の予定より不調が長引いており、先行きも不透明。
- カーシート向けは、自動車メーカーの認証不正問題による影響で、受注が減少していたものの、徐々に持ち直してきている。新たに発覚したメーカーの認証不正問題の影響も現時点では軽微とみている。

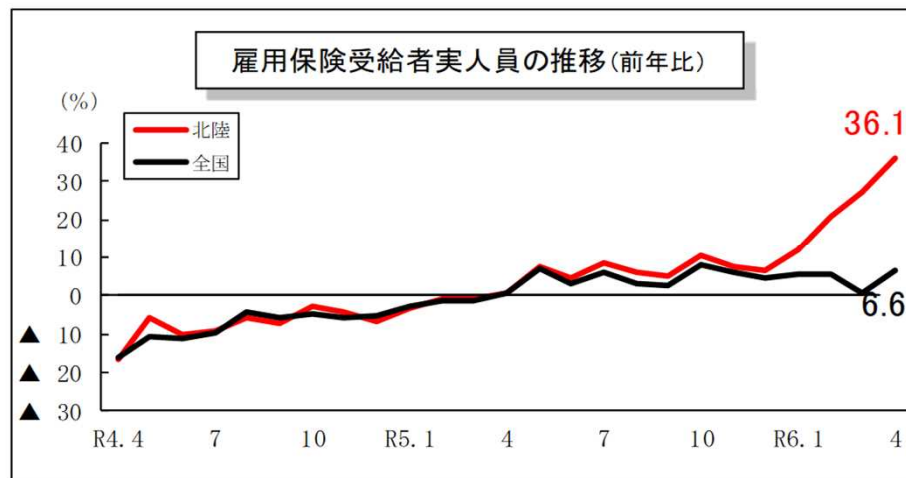
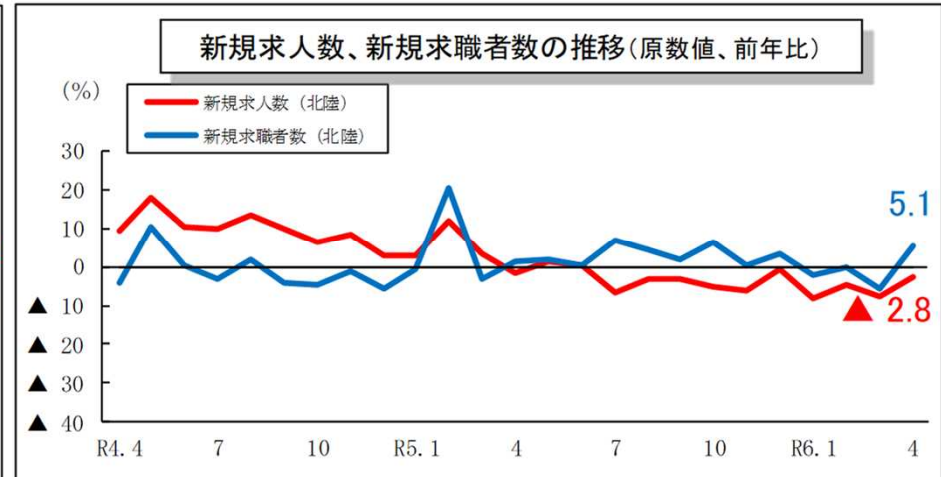
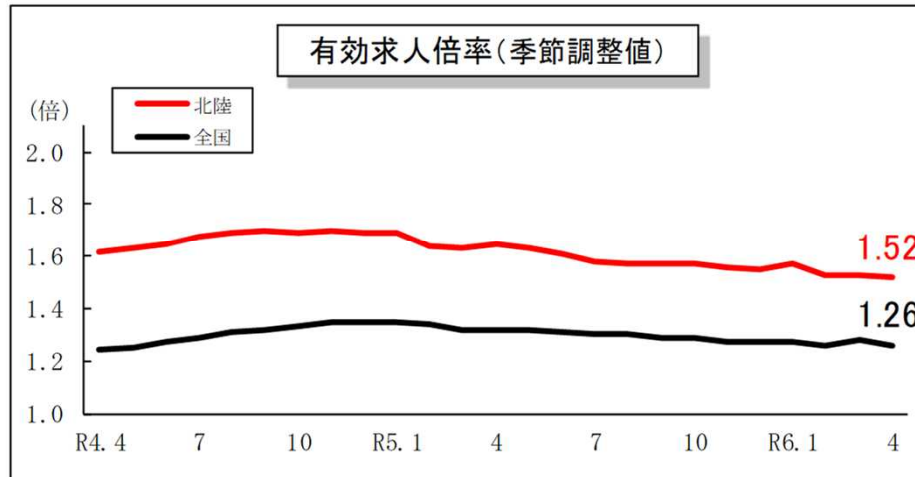


(資料) 中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

5. 雇用情勢 … 地震の影響により一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している

4月の有効求人倍率は、低下しているものの、高水準で推移している。
 新規求人数は前年を下回っており、新規求職者数は前年を上回っている。
 雇用保険受給者実人員は、前年を上回っている。

※前回5月判断を据置き(令和4年7月以降、24か月連続の据置き)



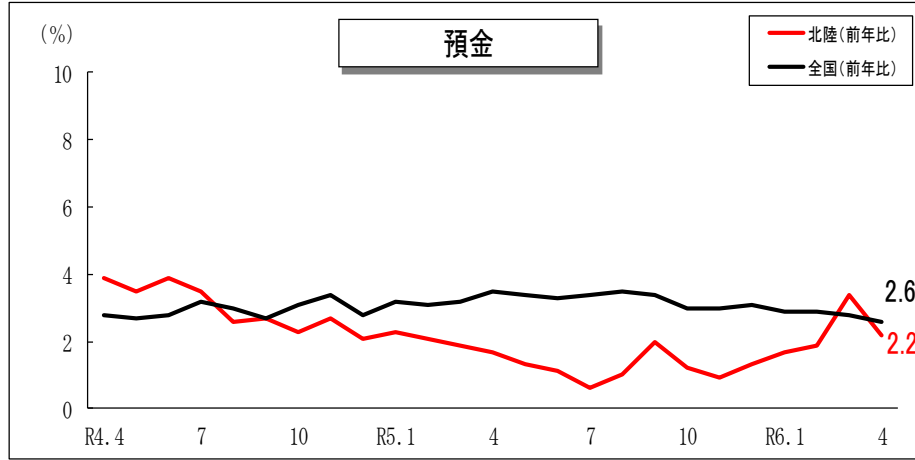
(注1) 従業員数判断BSI = 「不足気味」回答社数構成比 - 「過剰気味」回答社数構成比。

(注2) 最新の現状判断は、令和6年6月末時点。

6. 金融 … 預金、貸出金ともに前年を上回っている

(1) 預金

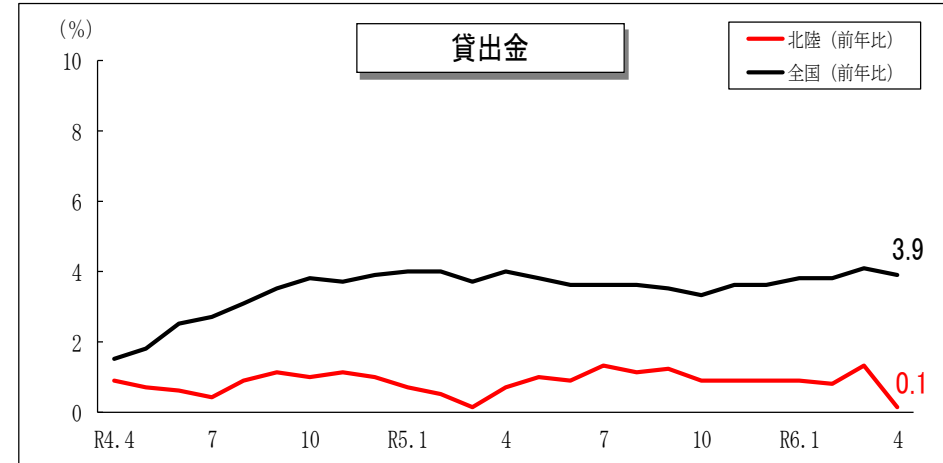
4月末の金融機関の預金は、前年を上回っている。



(資料) 日本銀行、信金中央金庫、北陸財務局

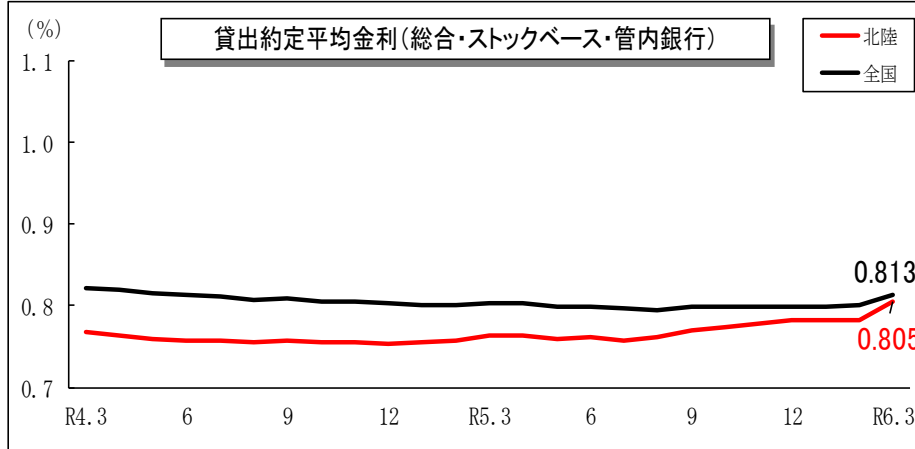
(2) 貸出金

4月末の金融機関の貸出金は、前年を上回っている。



(資料) 日本銀行、信金中央金庫、北陸財務局

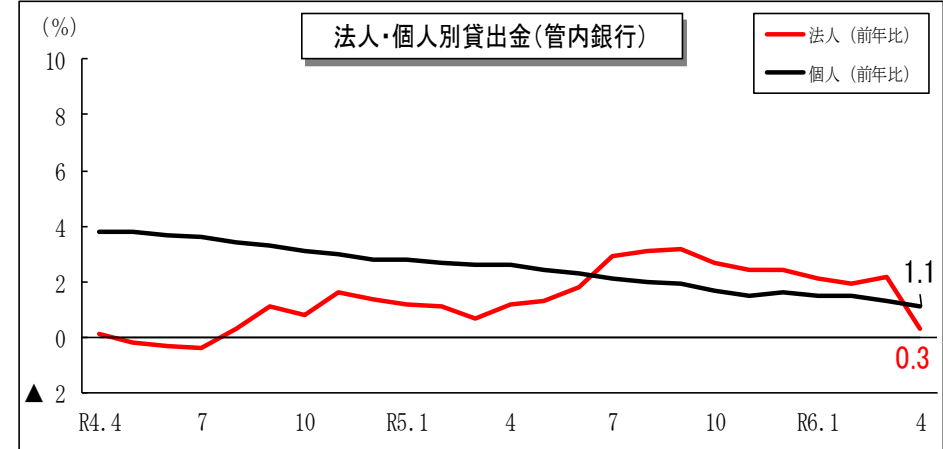
(参考) 貸出約定平均金利



(資料) 日本銀行

(注) 北陸3県内に本店を置く地方銀行・第二地方銀行の貸出金利を加重平均したもので、当座貸越を含め、金融機関向け貸出を除いたもの。全国は地方銀行。

(参考) 法人・個人別貸出金

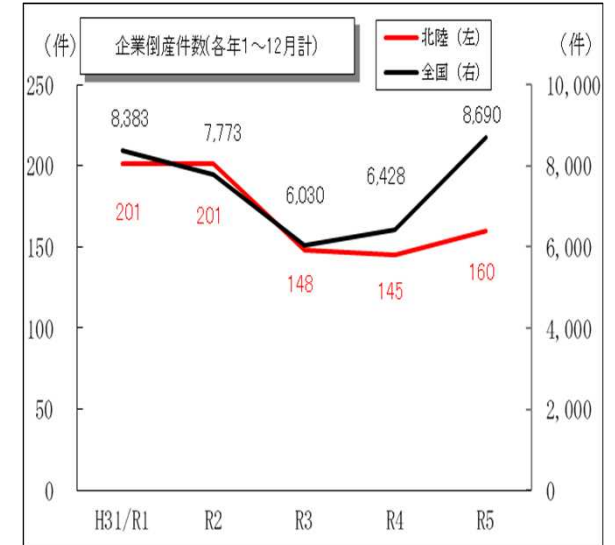
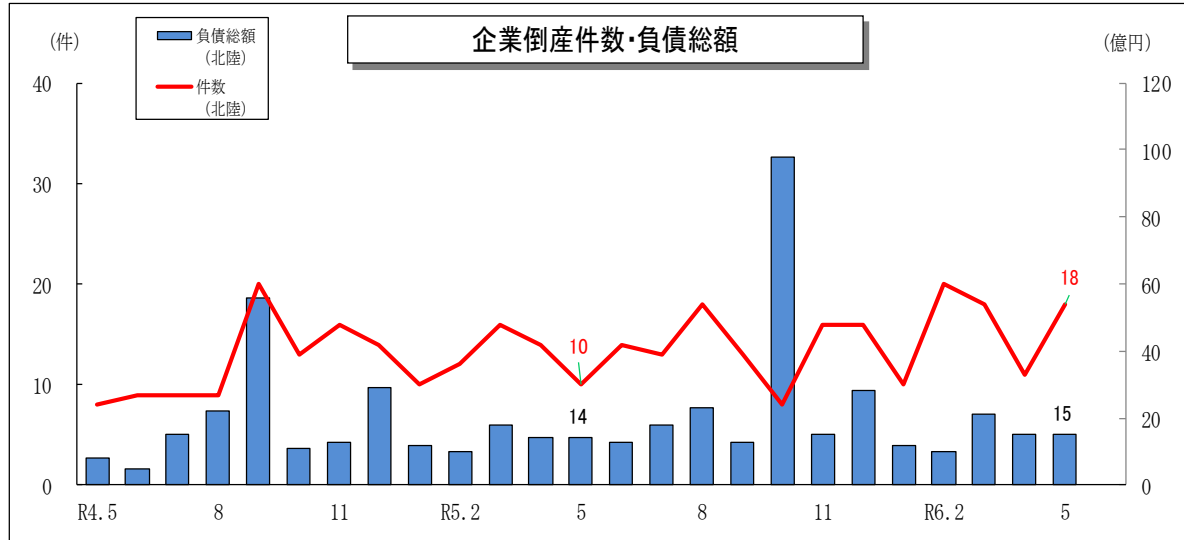


(資料) 日本銀行

(注) 北陸3県内に本店を置く地方銀行および第二地方銀行。

7. 企業倒産 … 前年を上回っている

5月の企業倒産(北陸3県)は、件数、負債総額ともに前年を上回っている。



(資料) ㈱東京商工リサーチ、北陸財務局

(本調査における留意事項)

1. グラフデータの「p」は速報値。
2. 資料出所に「北陸財務局」とあるものは、当局において石川県、富山県、福井県の計数を合算等し、北陸3県の計数を試算したものの。